

**新型コロナウイルス感染症
対策について**



稲垣 茂行

問 吉川市内の感染状況及び埼玉県・吉川市内医療体制の現状

答 市内新規感染者数は令和3年6月が17人、7月は71人、8月は430人で感染拡大が続いている。受診できる県指定の診察・検査医療機関は市内17、県内では1,215。

問 「ワクチン接種」の実施状況と完了予定

答 9月12日時点の1回目接種者は、39,400人で接種率約61%、2回目の修了者は29,163人で接種率約45%。11月中旬には希望者全員の完了を予定。

問 「市内自宅療養者」の救急搬送の現状

答 8月期の「自宅療養者」からの救急要請は38件。うち12件を搬送、26件は不搬送と吉川松伏消防組合より伺っている。

問 「自宅療養者」への支援体制

答 県はパルスオキシメーターや食料を届けるとともに、定期的に電話等で健康観察を実施。

問 市民の不安解消に市がなすべきこと

答 関連情報の提供や市独自の「自宅療養者」への食糧支援をはじめ、保健師1名を草加保健所へ派遣し業務支援を行っている。

**安心・安全な道路整備と
危険箇所の周知徹底を**



吉川 敏幸

問 ①幼保育園のお散歩コースや通学路の総点検の結果、挙がってきた危険箇所は何カ所になるのか。②また、その周知方法は。

答 ①保育施設等からは16カ所、各校からは73カ所が危険箇所として挙がってきた。それらの点検結果のうち、越谷県土整備事務所より対策の必要があると判断された箇所は62カ所である。②学校配布物、PTAを通じて、児童・保護者に周知することを考えている。

◆三輪野江のしっかりとした現況把握、計画を

問 ①農業保全エリア、農業拠点エリア、将来開発検討エリア、それぞれの連続した農地はどれくらいか。②県や国の意向は、また、県や国のどういう事業、法令に則って進めるのか。

答 ①詳細については、現在調査中でお示しできない。②農地保全、農業拠点エリアにおいては、事業を検討するにあたり県に情報提供を行い、情報交換をしているところ。将来開発検討エリアにおいては、現在のところ、工業系の開発に関する県や国の意向や事業はない。当市において、基本構想の作成を進めているところ。

意見書

意見書は、地方自治法第99条に基づき、市の公益に關することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のことです。

今定例会には3件の意見書が提出され、次の2件を可決、内閣総理大臣等へ送付しました。



**名古屋入管死亡事件の真相究明
を求める意見書**

名古屋出入国在留管理局の収容施設でスリランカ人ウィシユマ・サンダマリさんが3月に亡くなった事件で、入管庁最終報告書を公表しました。報告書は「改善すべき点があった」とした

ものの、なぜ死を防げなかったのか、具体的な検証はありません。死亡の1カ月以上前から嘔吐を繰り返し、3週間前の尿検査は「飢餓状態」でしたが、内科的処置はおこなわれていません。報告書は、これらの原因を「医療体制の制約」や情報共有・対応の体制の問題としています。しかし、入管職員が、体調不良の訴えは仮放免を得るための「詐病」とみなしたとの記述もあり、体制があっても対応しなかった可能性は否定できません。各地の入管施設では、体調不良を訴えても診療を認めようとせず、被収容者にまともに向き合わない姿勢が批判されてきました。背景には、医師の判断より施設長の判断を優先させる入管行政の構造上の問題があります。入管施設で医療を受けられず死亡した事例が後を絶たず、職員の暴力・暴言・人権侵害を告発する声も続出していたのに改善されないことは深刻です。ウィシユマさんがものを飲み込めず苦しむ様子をからかう職員がいたことは信じがたい人権意識の欠如です。